

Equalization in Class(room)

Shun-ichiro Bessho^a

Akira Karamura^b

Haruko Noguchi^b

Ryuichi Tanaka^c

Koichi Ushijima^{d,*}

4/16/2018

要旨

東京都足立区の 2010 年度から 2013 年度に区立中学校に入学した中学 1 年生および中学 2 年生の悉皆パネルデータを用いて非線形なピア効果を計測した。誘導形による推定の結果、数学では非線形なピア効果が観察された。クラス内の成績上位者のスコアがクラスの平均的な成績の生徒よりも伸び、成績下位者のスコアがクラス内の平均的な成績に近づくように伸びた。国語ではこの傾向は観察されなかった。クラス間の成績はクラス間格差を縮小するような影響を与えた。この影響は平均的には、同じ小学校出身者割合が国語の与える影響とほぼ同等であった。数学のクラス内における成績の下位者は、他のクラスの成績がより悪いほど成績が下がる傾向が見られた。この影響の規模はクラス内の非線形影響とほぼ同等である。つまり、クラス内とほぼ同程度にクラス外からも非線形な影響を受けることが明らかになった。

キーワード：ピア効果、均等化、テストスコア、授業

JEL classification : I21

* Corresponding author

^a 財務省財務総合政策研究所

^b 早稲田大学政治経済学術院

^c 東京大学社会科学研究所

^d The University of Tsukuba, 1-1-1 Ten-nodai, Tsukuba-shi, Ibaraki 305-8573, Japan
ushijima@sk.tsukuba.ac.jp